

学校評価(共通項目)評価書

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。 (※夏季休業期間の変更に伴う教育課程編成の工夫を含む)	A 3.47	・職員評価においては肯定的意見が100%となったが、詳しい分析の中には、改善を図れる項目があった。 ・職員会議、学年会の一層の充実を図っていくことが必要である。	A 3.86	・学校だよりに掲載されている一中学生の活躍から、充分達成が感じられる。 ・職員会議、学年会を活用して、縦、横の連携を密にし、報告して欲しい。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。 (※いじめの未然防止と早期発見、再発防止等の組織的な対応を含む)	A 3.43	・危険個所の周知及び改修を迅速に行う。 ・廊下を走っている生徒が多く、委員会で呼びかける。 ・開きにくい扉は点検・補修を実施する。	A 3.86	・設備が少しずつ劣化しているので、点検表を作り可視化して欲しい。 ・壊れている箇所は、早急に修理をして欲しい。 ・いじめは先生によって対応が違うように思える。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	B 3.17	・朝読書の時間を一部朝学習の時間に定める取り組みも有効かと思う。 ・基礎学力を確認するための家庭学習が必要。家庭学習の勧告・環境づくりを推進する。 ・補習をする機会があると、できていない子への個別のフォローができるのではないかと。 ・個人差はあるが、おおむね身に付けていると思う。	B 3.29	・授業の様子を見ると、先生と生徒が一体となって授業を進めている。 ・できれば生徒も先生も声を大きく出した授業を望みます。 ・基礎学力の向上については、家庭学習の習慣づけだけでなく関係小学校との連携が必要かと思えます。 ・できない子への補習を増やして欲しい。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A 3.67	・ALを取り入れたり、ICTを活用した授業を積極的に実施している。 ・基礎学力が身に付いているか試験を行うことも検討したい。	A 3.86	・授業がとてわかりやすくなっている。 ・参観していて楽しい授業が多い。 ・H31年度学力調査の結果から先生方の努力がうかがわれる。 ・先生によって差があるように感じる。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	B 3.13	・規則の根拠を生徒が理解する機会を作る。 ・時と場に応じた態度や身だしなみをきちんと理解させる指導を徹底する。	A 3.86	・規律・集団行動にきちんと取り組んでいる。 ・先生とも心を開いて話しやすい環境があり、心を開いている生徒が多い。 ・日頃から出会う礼儀正しい姿から、規律ある態度が身に付いていることが推察される。 中学生の持つエネルギーを上手にコントロールしながら、根気強く指導いただければと思います。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	A 3.49	・教師の言動は常に生徒から見られているという意識を強く持ち、手本となるような言動に努める。 ・厳しさと愛情を兼ね備えた指導を実施する。 ・やむを得ず別室指導をする際の基準を統一する。	A 3.86	・先生方が豊かな心の育成に努められていることが、職員評価の数値や充実した道徳教育の様子からわかる。 ・生徒も先生も大きな声であいさつしてくれる。 ・先生方による規律ある指導が身に付いているものと思う。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A 3.49	・事故やけがの内容を共有化し、防止意識を徹底する。 ・体育委員で屋レクを企画した結果、外に出る生徒が増えたので全学年で実施したい。 ・屋休みに校庭で遊ぶ生徒を増やす(廊下で遊んでいる生徒を減らす)。	A 3.86	・非常に熱心に取り組んでいる。 ・校内に飾られているトロフィーなど、部活動の功績、結果が現れている。 ・体育の授業や特別活動などで、生徒が楽しそうに体力向上を図っている。 ・部活動中のケガが多い気がする。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	B 3.37	・屋休みを外で過ごす取り組み(学年レクなど)が充実するとよい。 ・施設設備や用具の充実を一層図る。 ・体育委員主催の屋休みレク(ドッジボール大会)が良かったため、今後も継続する。	A 4.00	・体育が得意の子も苦手な子も楽しめる時間が授業にあると良い。 ・各大会での一中学生の活躍が、先生方の向上策によるものだと感じている。 ・生徒保護者の評価が安定して高いのに対し、先生方の評価が下がっているのが気になるが、屋レク等、外遊びに積極的に取り組んでいるところが良い。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	B 3.20	・保護者会や面談を通して信頼関係を高め、地域や保護者の協力を得る。 ・保護者による補習教室もしくは自習室の運営を検討できないか。	A 3.43	・学校運営協議会で話された内容に、学校が取り組んでくれてありがたいです。 ・年度ごとに少しずつ向上していることがうかがえます。 ・職員評価で肯定評価が大きく上がっていることからA評価とします。 ・先生方から保護者に投げかけることを増やしても良いのではないかと感じます。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	B 3.22	・交通安全指導や薬物・スマホ等の講話に保護者も生徒と共に参加する機会を作る。 ・保護者による補習教室もしくは自習室の運営を検討できないか。	B 3.14	・職員評価が下がっているのが気になります。学校での指導内容を保護者や地域にも理解していただき、継続的に見守っていただいているかどうか、そんな視点で評価されても良いのではないかと。 ・スマホの使い方など、保護者全員が勉強すべき。 ・子供は大人を見て育つので、良い地域であらねばと思う。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA～Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満